

株式会社ジェーソン

# 2024年2月期 第2四半期 決算説明資料

2023年10月12日



IRメール配信登録



<https://www.magicalir.net/3080/mail/>



証券コード：3080

# INDEX

## 目次

- 1 会社概要
- 2 2024年2月期 第2四半期 決算概要
- 3 当社の特徴と成長戦略、下期の取り組み
- 4 2024年2月期 業績予想・株主還元
- 5 サステナビリティ

# 1

## 会社概要



## VISION ビジョン

人々の生活を支えるインフラ（社会基盤）となる

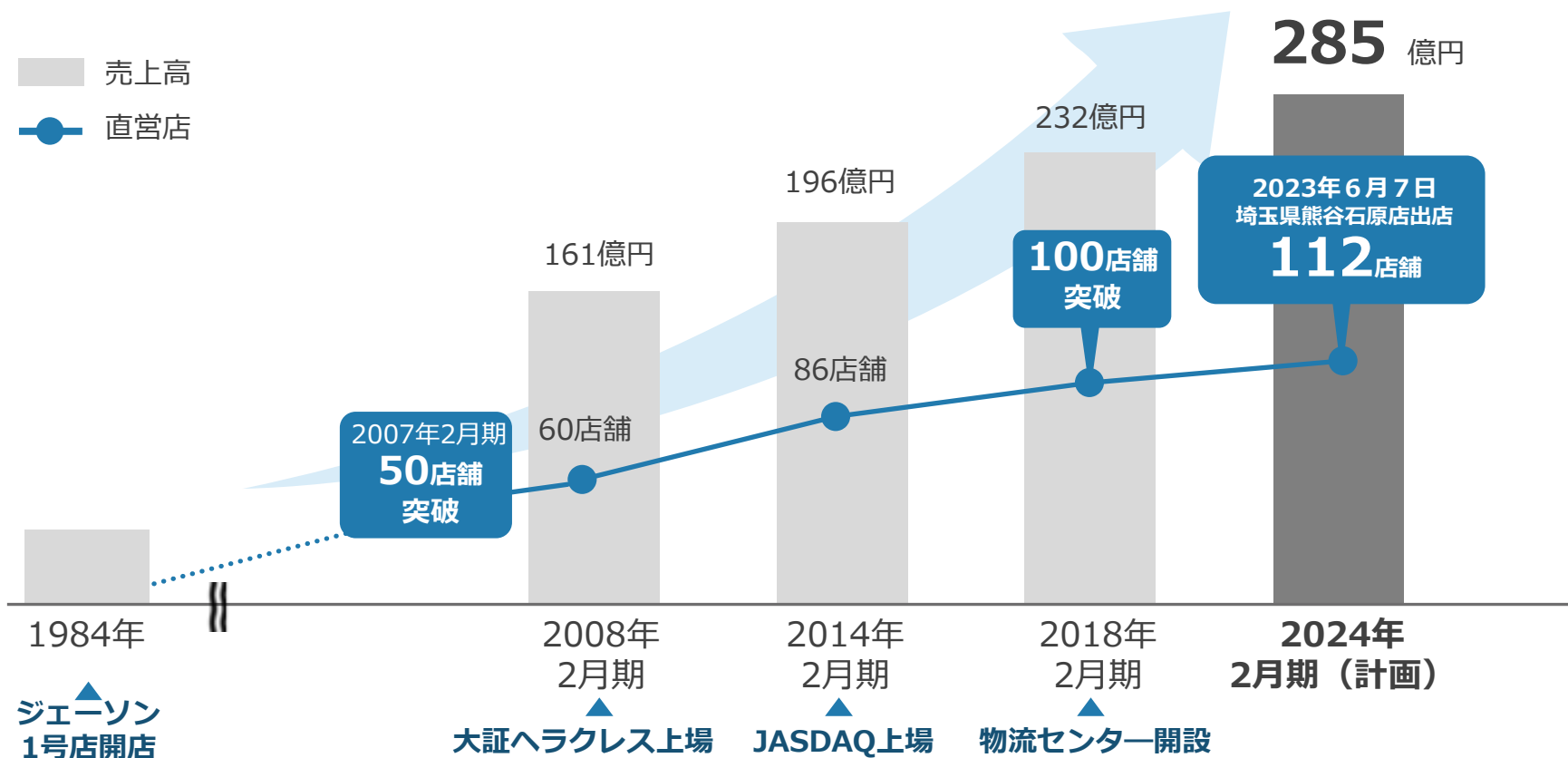
ビジネスをサイエンスし、  
未来へ進化し続けるロープライスストアを目指します。

会社名	株式会社ジェーソン
上場市場	東京証券取引所 スタンダード 3080
事業概要	ディスカウントストアとバラエティストアの運営およびチェーン展開
設立	1973年7月 (会社合併による存続会社の設立年月日。実質的な事業開始は1983年6月)
代表者	代表取締役社長兼会長 太田 万三彦
本社	千葉県柏市大津ヶ丘2-8-5
資本金	3億2,030万円
決算日	2月末日
従業員数	1,695名 (正社員188名・準社員1,507名。2023年2月末現在)



## 売上高285億円規模に持続的かつ着実に成長

- ✓ 居抜き物件を中心に、関東一円にバラエティストアをチェーン展開
- ✓ ITおよび物流内製化等によるローコスト経営を徹底し、順調に業容・店舗網を拡大



## ジェーソン グループ

当社と連結子会社【株式会社スパイラル】 【株式会社尚仁沢ビバレッジ】 の3社で構成されています。



## 地域密着型のバラエティストア※を運営

※地域密着の生活必需品を安価に提供する、コンビニエンス性の高い店舗のこと。

1日の来店者数

約 **54,600** 名



生鮮食品を除く生活必需品、日用品のバラエティストアを首都圏、関東近郊の生活圏で運営

\*一部店舗にて、青果の取り扱いあり

平均的な店舗面積

約 **209** 坪 (≒691 m<sup>2</sup>)

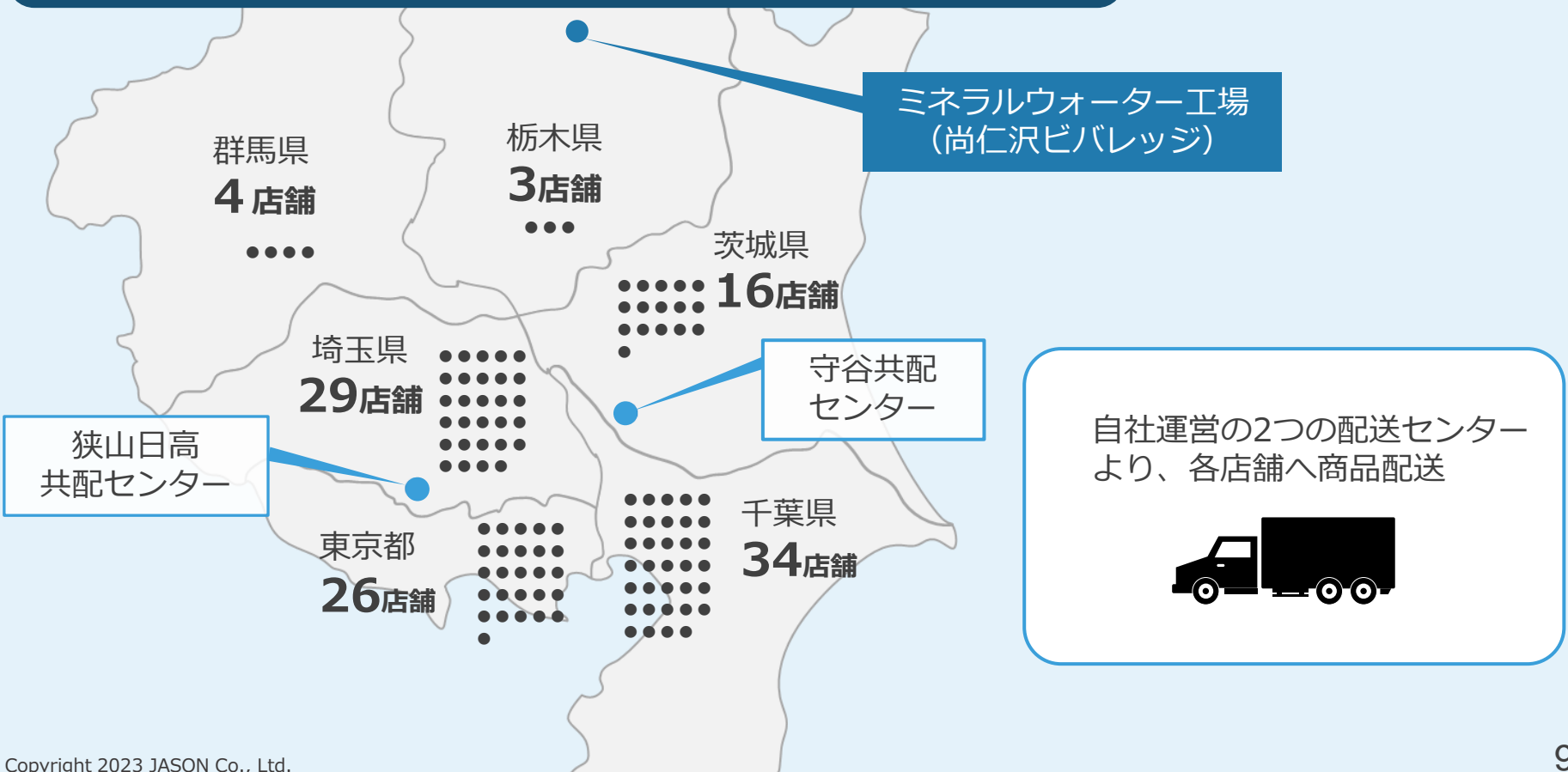


いつでも安く、より短い時間で、手軽に購入できる売り場づくりを心がけています。



# 物流センターをハブとして**関東一円**で店舗展開

## 店舗分布



## 売上の約7割が食料品であり、地域住民の生活に貢献

洗剤衛生品  
キッチン日用品  
洗濯清掃品  
ペット用品 等

日用品・  
家庭用品  
**25%**

衣料服飾・  
インテリア  
3%  
酒類  
5%

小売事業小計  
**約260億円**  
(2023年2月期)

食料品  
**67%**

飲料（お茶、コーヒー、  
ミネラルウォーター等）  
菓子・グロサリー、日配品 等



▲店内の陳列の様子

しょうじんざわ

# ミネラルウォーター「尚仁沢の天然水」

## 2023年8月 累計出荷本数1,000万本を突破



環境省が選定した全国名水百選に数えられる名水「尚仁沢湧水」のミネラルウォーター。天然の広葉樹（ブナ）の原生林に育まれた湧水は「天然弱アルカリ」成分で、超軟水（硬度：23mg）であり、まろやかな味わい。



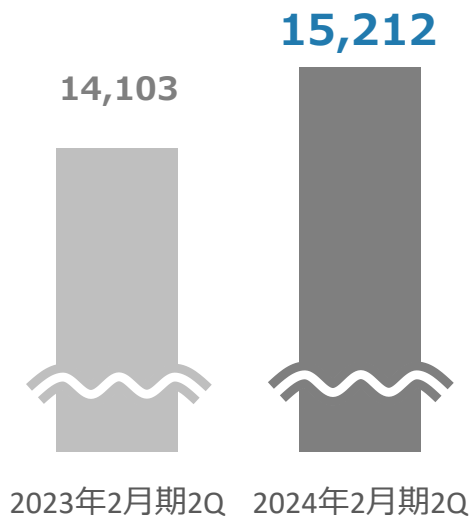
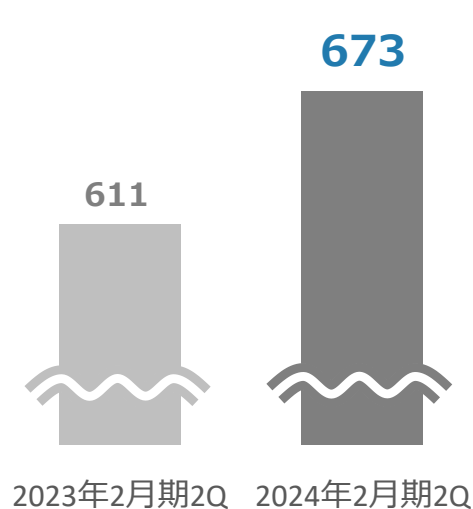
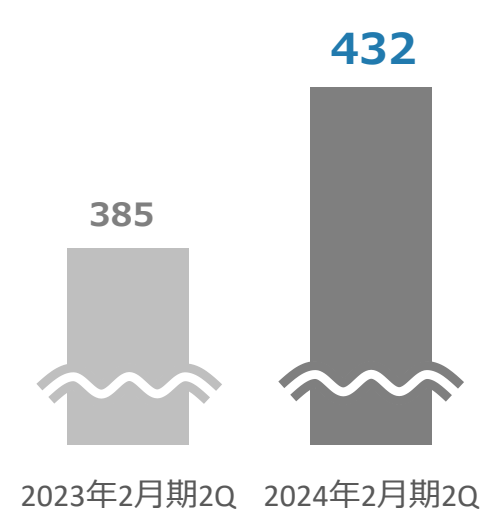
▲栃木県塩谷町 尚仁沢ボトリング工場

# 2



## 2024年2月期 第2四半期 決算概要

物価高のなか適切なプライシングで販売数量を伸ばすとともに、猛暑による飲料需要の増加も加わり、**約8%の増収**。併せて徹底したコストの抑制、子会社の収益貢献等により**2桁増益を達成**。

**売上高** (単位：百万円)前期比 **7.9% 増****営業利益** (単位：百万円)前期比 **10.0% 増****当期純利益** (単位：百万円)前期比 **12.0% 増**

## 成長性・収益性

売上高伸率

**7.9%**

営業利益率

**4.4%**

## 売上高前年同期比

月次情報の月平均値

全店

**107.7%**

既存店

**104.8%**

## 店舗数

店舗純増数

**+ 1** 店舗

新規出店 + 2

閉店 - 1

店舗数 : 112

## 売上高は、期初計画を上回り好調に推移。各段階利益も計画通り。 売上、利益ともに、通期計画達成に向け良好な業績進捗。

- ・増収要因：PB商品（主にミネラルウォーター）、JV商品の販売が好調。客単価上昇。
- ・増益要因：ローコストオペレーション効果、子会社の収益力向上。

(単位：百万円)	2023.2月期		2024.2月期					通期	
	2Q		2Q			計画	達成率	計画	進捗率
	実績	率	実績	率	※前年同期比				
売上高	14,103	—	<b>15,212</b>	—	107.9%	14,800	102.8%	28,500	53.4%
原価	10,280	72.8%	<b>11,224</b>	73.8%	109.2%	—	—	—	—
売上総利益	3,823	27.1%	<b>3,988</b>	26.2%	104.3%	—	—	—	—
販管費	3,211	22.7%	<b>3,315</b>	21.8%	103.2%	—	—	—	—
営業利益	611	4.3%	<b>673</b>	4.4%	110.0%	670	100.4%	960	70.1%
経常利益	632	4.4%	<b>690</b>	4.5%	109.1%	690	100.0%	1,000	69.0%
四半期純利益	385	2.7%	<b>432</b>	2.8%	112.0%	430	100.5%	630	68.6%
EPS (円)	30.13	—	<b>33.74</b>	—	112.0%	33.56	—	49.17	—

## 上期では茨城県と埼玉県で新たに2店舗がオープン

2023年4月26日OPEN

### ジェーソン神栖波崎店 (茨城県)

茨城県神栖市波崎6886-1

アクセス 国道124号線沿い

売場面積  
916㎡



2023年6月7日OPEN

### ジェーソン熊谷石原店 (埼玉県)

埼玉県熊谷市石原344-2

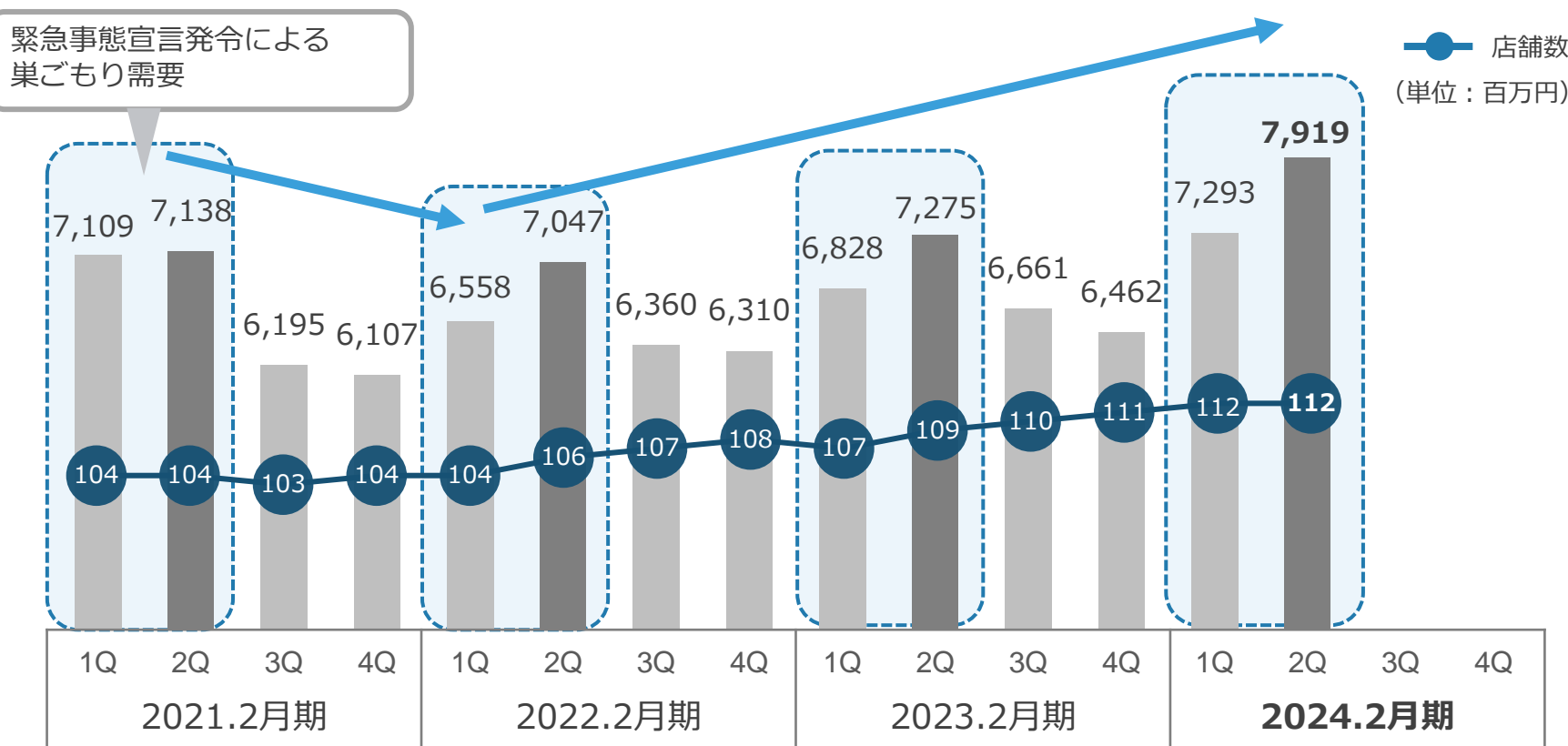
アクセス 国道140号線沿い

売場面積  
604㎡

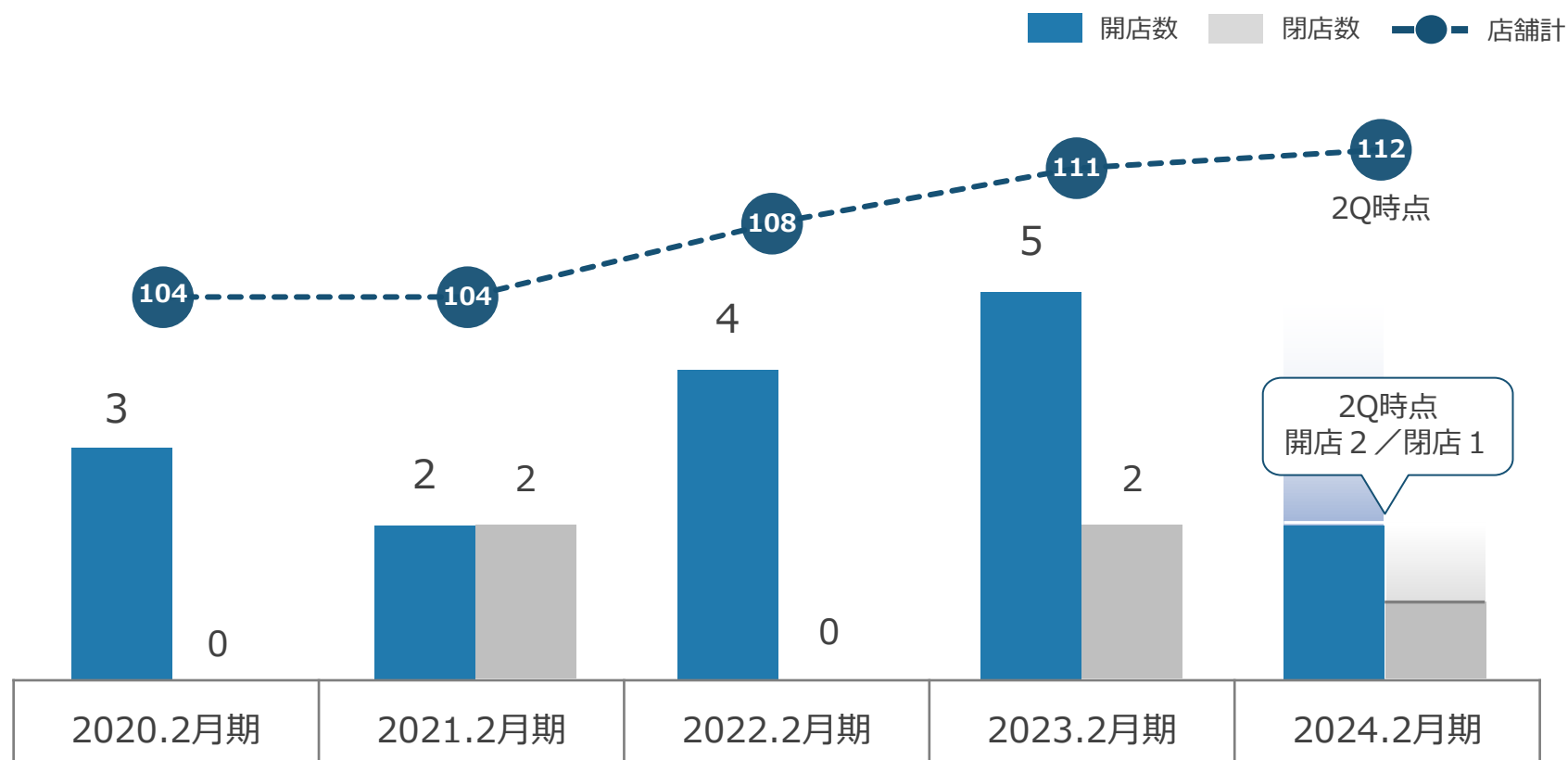




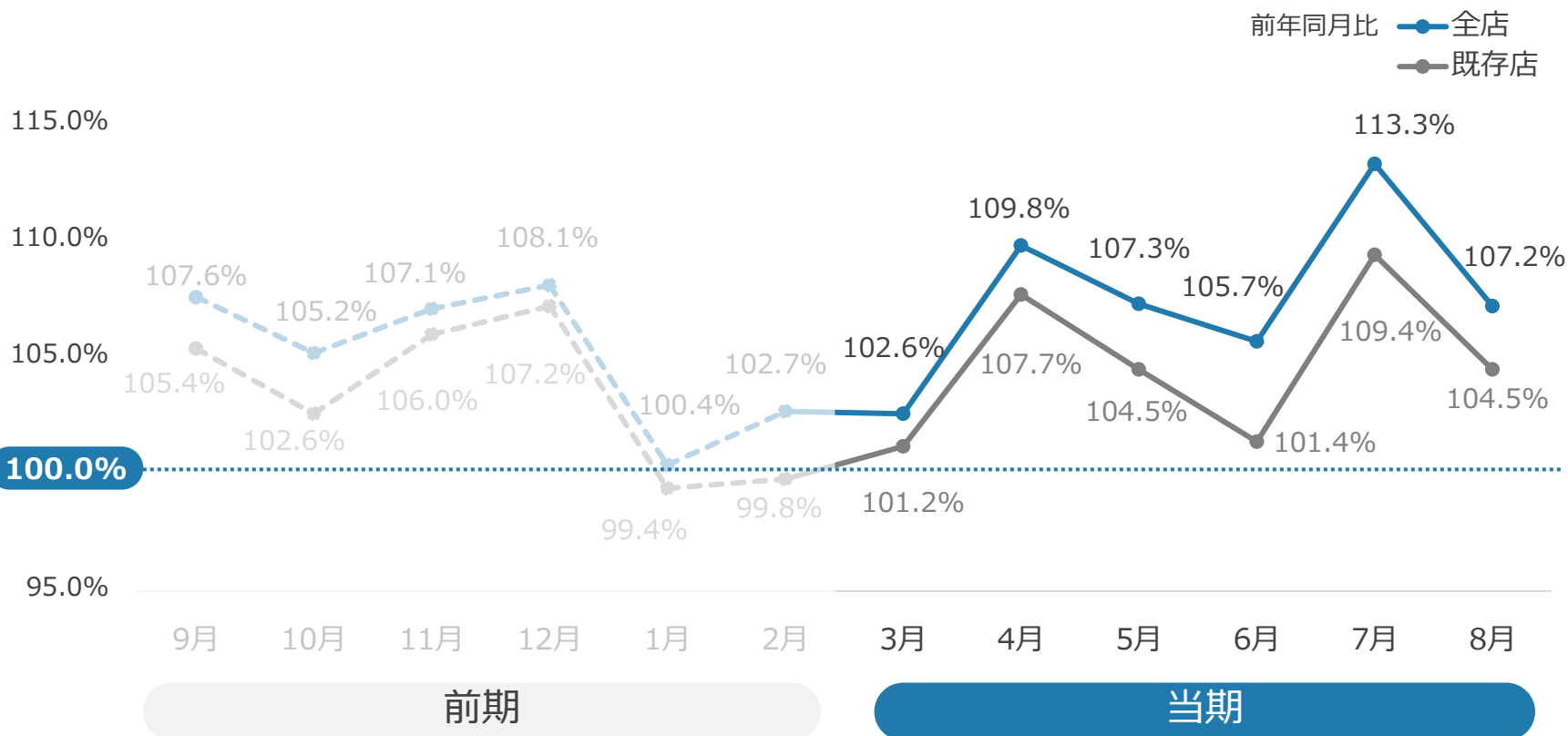
当社のロープライス戦略が支持されるとともに、店舗数の増加・飲料需要の拡大等も相まって、増収基調が継続。第1Q、第2Qともに、2021年2月期 (コロナ関連需要時) を超える水準。



店舗のスクラップ&ビルドを継続的に実施し、利益率上昇・体質強化を図りつつ、店舗数純増を進める戦略を遂行。



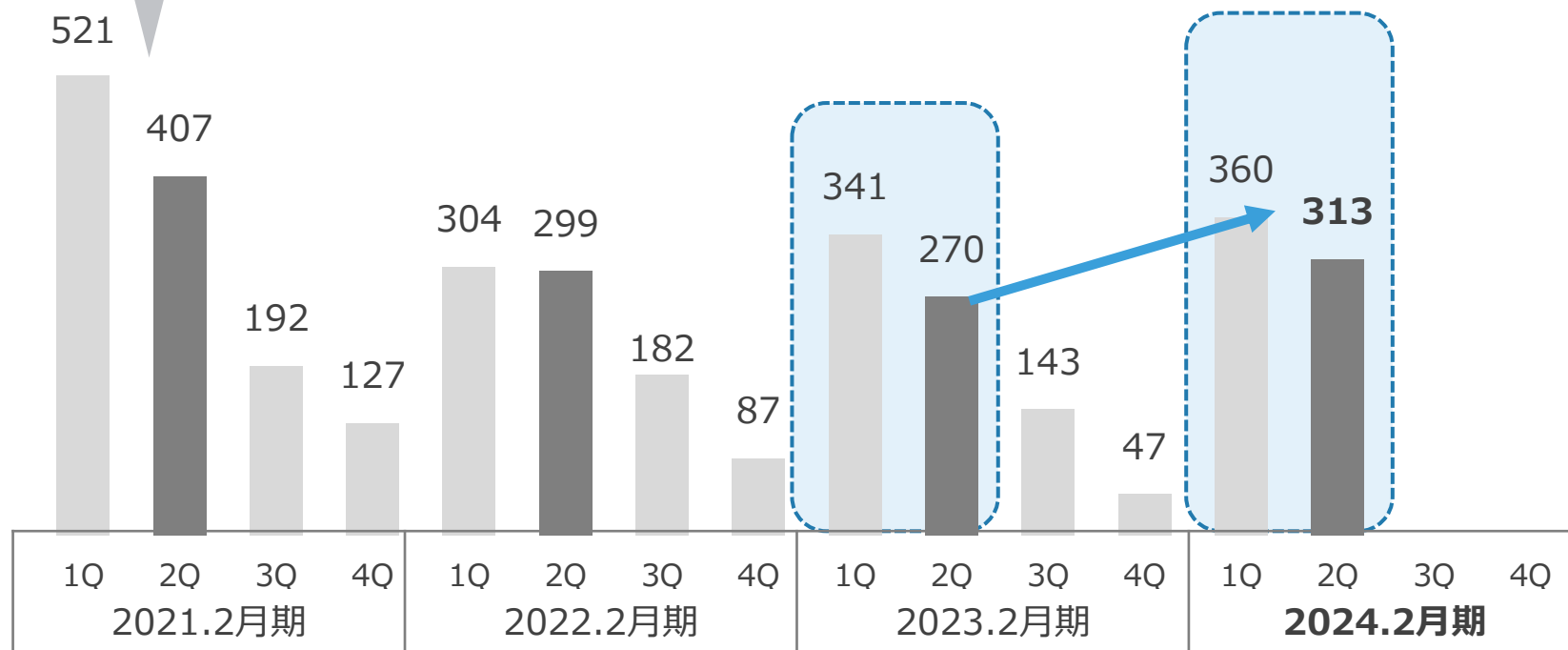
仕入価格上昇に伴う販売価格の引上げに加え、記録的な猛暑の影響により主力のペットボトル飲料を中心に需要が拡大するなど、既存店を含め店舗売上は高位安定で推移。



物価上昇が続く中、JV商品やPB商品の取扱い強化による相対的な価格優位、店舗数拡大等による好調な売上を背景に、徹底したローコストオペレーションを継続的に追求し、引き続き増益基調。

緊急事態宣言発令による  
巣ごもり需要

(単位：百万円)



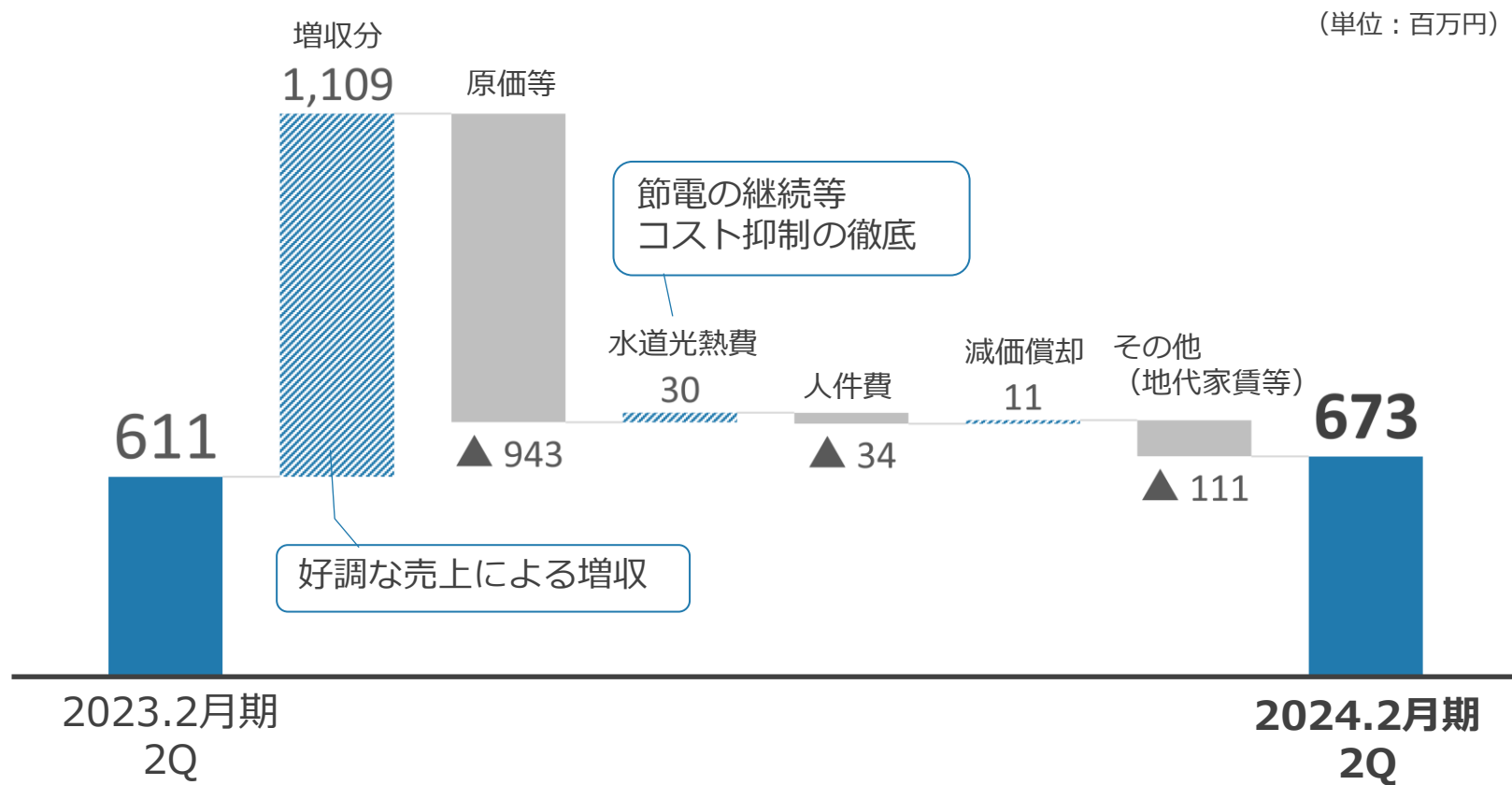
商品部門別では食料品の売上構成比が最も大きく、前期比2.4ポイント増加。

(単位：百万円)

商品部門名称	2024.2月期2Q	構成比（※）	2023.2月期2Q 構成比
衣料服飾・インテリア	313	2.1%	2.3%
日用品・家庭用品	3,397	22.3%	24.3%
食料品	10,249	<b>67.4%</b>	65.0%
酒類	663	4.4%	4.7%
その他商品	579	3.8%	3.7%
小計	15,204	99.9%	99.9%
その他営業収入	8	0.1%	0.1%
合計	15,212	100.0%	100.0%

※ その他営業収入を含む全社ベース

好調な売上および売上総利益の増加に加えて、節電を含めたローコスト経営の徹底により**110%の増益**を達成。



**店舗純増1店舗、売上規模拡大により、前期末比で総資産が約11.8億円、純資産約2.6億円増加。**

(単位：百万円)	2023.2月期	2024.2月期 2Q	増減	主な内訳
流動資産	6,869	8,057	1,188	現金及び預金、商品及び製品など
固定資産	3,536	3,530	▲6	
有形固定資産	2,083	2,073	▲10	建物及び構築物、土地、工具、器具及び備品など
無形固定資産	158	159	1	のれんなど
投資その他の資産	1,293	1,298	5	敷金及び保証金など
資産合計	10,405	<b>11,587</b>	<b>1,182</b>	
負債合計	4,720	<b>5,637</b>	<b>917</b>	
流動負債	3,540	4,508	968	買掛金、短期借入金、未払金など
固定負債	1,180	1,128	▲52	長期借入金、リース債務 など
純資産合計	5,684	<b>5,950</b>	<b>266</b>	
負債・純資産合計	10,405	<b>11,587</b>	<b>1,182</b>	

# 3

## 当社の特徴と成長戦略、 下期の取り組み





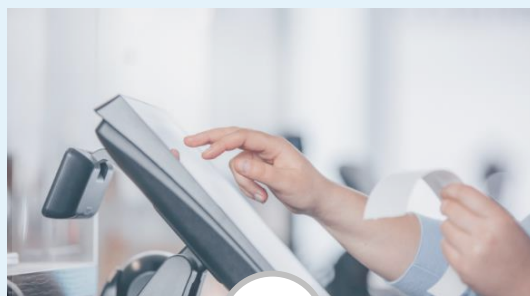


1

人々の生活を支える  
**インフラ（社会基盤）**  
となること



地域密着型の経営で、  
お客様に喜ばれる店舗  
づくりを目指します。



2

**科学的、合理的な  
視点**でビジネスを  
進めること



内製化された業務システム  
+  
店舗オペレーション  
商品管理  
商品仕入  
物流体制



3

**ビジネスをサイエ  
ンス**し、未来へ進  
化し続けること

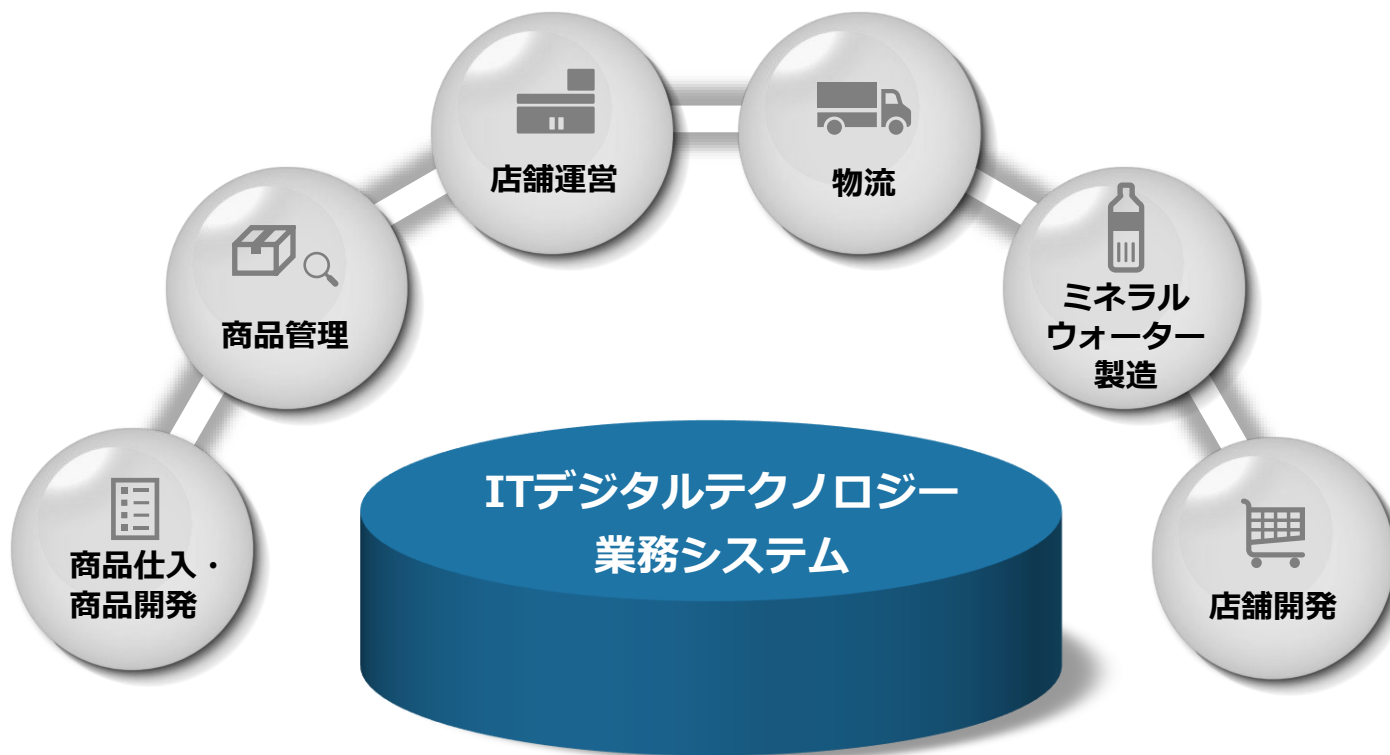


時代の潮流を読み、  
絶え間なく進化するIT・デ  
ジタルテクノロジーととも  
に成長し続けます。

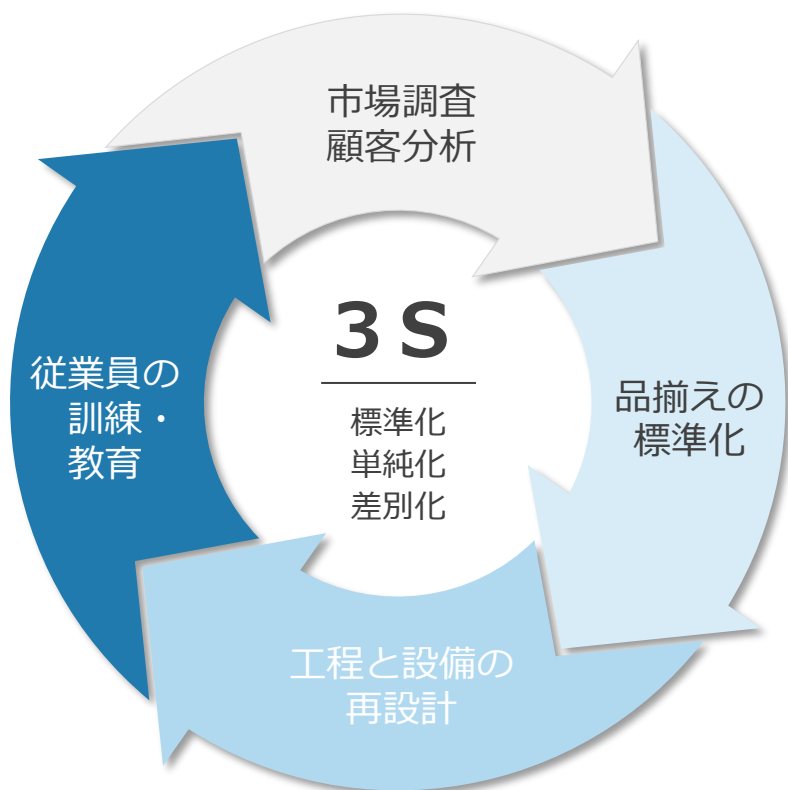
## ジェーソンの発展を支えるデジタルテクノロジー・業務システム

「ムリ・ムラ・ムダ」を省いたローコスト経営

科学的、合理的な視点でビジネスを進めることが、ジェーソンが大切にしているマインド。



ベーシックなオペレーションシステムを愚直に実施し、改善を積み重ね、**ステークホルダーの皆様と企業利益の両立**を目指します。

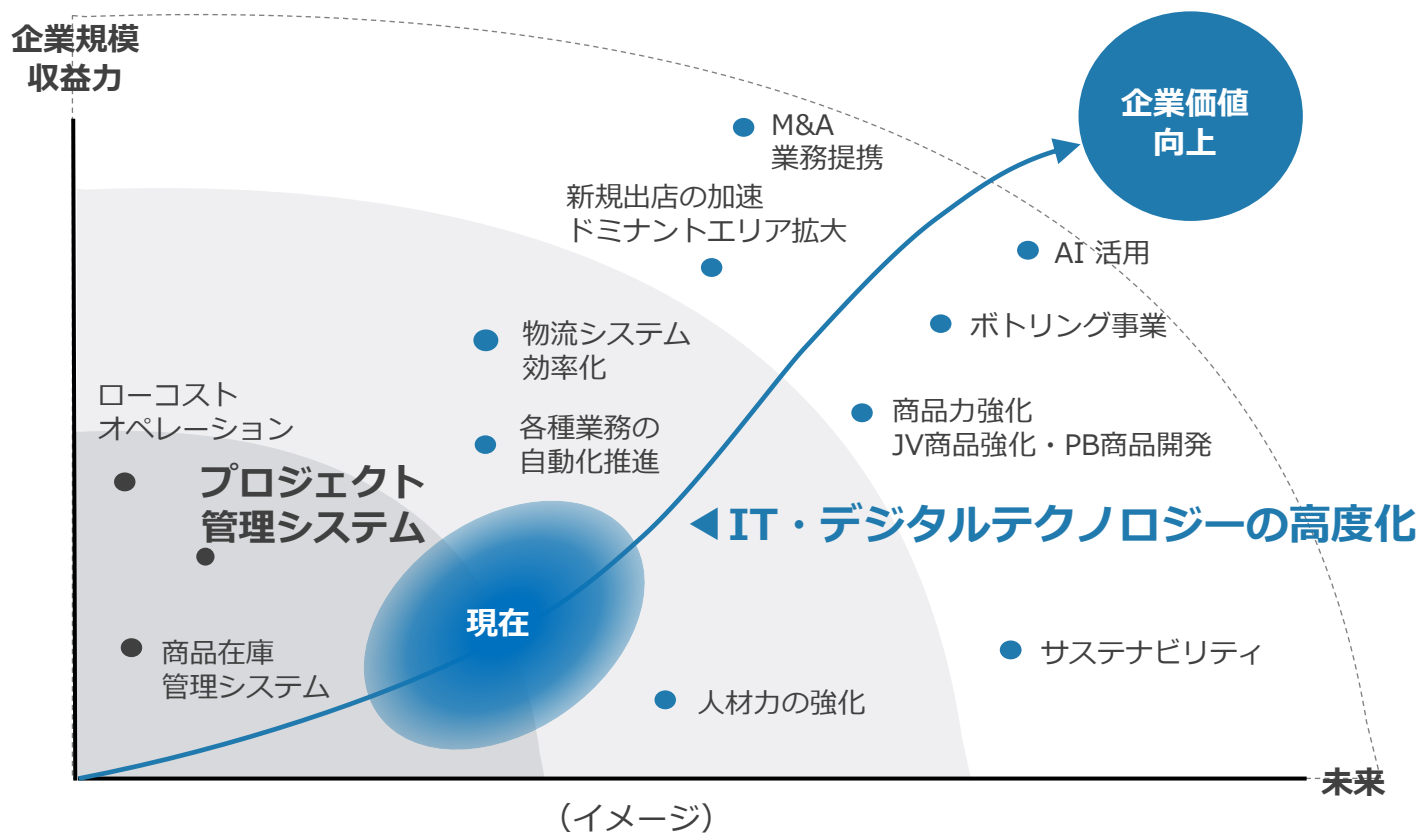


多店舗展開・M&Aによる企業規模拡大  
IT活用・内製化によるコストダウン

収益の大幅な増加

ステークホルダー（顧客・株主・従業員・取引  
先・社会）と企業利益の両立を実現

社内IT・デジタルテクノロジーの高度化を主軸に、徹底したローコスト経営と各種経営戦略を展開し、企業価値向上を進めて参ります。



## 期初に掲げた3つの重点ポイントを強化・加速

引き続き先行き不透明な外部環境下、徹底したローコスト経営を推進しつつ、以下の重点施策により事業の拡大・収益増強を図ります。

### 1 新規出店の加速、低収益店舗の見極め

- ✓ 店舗開発人員を拡充し、店舗物件の情報収集力を強化。
- ✓ 居抜き物件を中心としたローコスト出店を推進。
- ✓ 低収益店舗については、退店の選択肢を含め検討。

### 2 JV（ジェーソン・バリュー）商品・PB商品の取扱拡大

- ✓ JV商品を中心にロープライスを訴求し、引き続き物価高に対抗。
- ✓ 自社製ミネラルウォーターの更なる増産に向け設備投資を検討。生産量の拡大により、商品供給の安定・子会社収益力の一層の向上を図る。

### 3 経営効率の向上

- ✓ プロジェクト管理システムの活用によるマネジメント体制高度化。
- ✓ 3本部体制から2本部体制へ変更しマネジメントスピードをUP。
- ✓ 省エネ、省人化の徹底。非効率業務の見直し、管理業務の自動化促進。

# 4



2024年2月期 業績予想・株主還元

業績予想は変更しておりません。

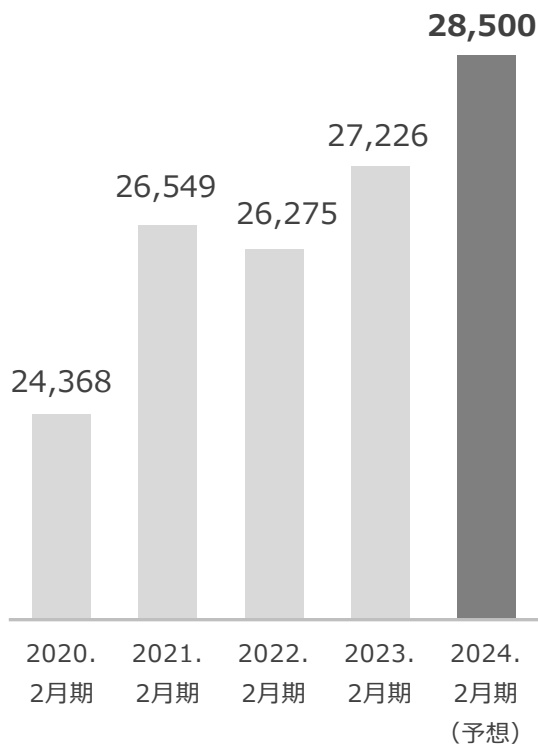
連結ベースで、売上高約5%の増収、ならびに、利益面で約20%の増益を計画。

(単位：百万円)	2023.2月期 実績	2024.2月期 予想	前期比 (額)	前期比 (率)
売上高	27,226	<b>28,500</b>	1,274	104.7%
営業利益	801	<b>960</b>	159	119.9%
経常利益	839	<b>1,000</b>	161	119.2%
当期純利益	599	<b>630</b>	31	105.2%

売上高は増収基調を継続。利益面では、引き続き各種コストの高騰を吸収しつつ、**経常利益10億円**を狙います。

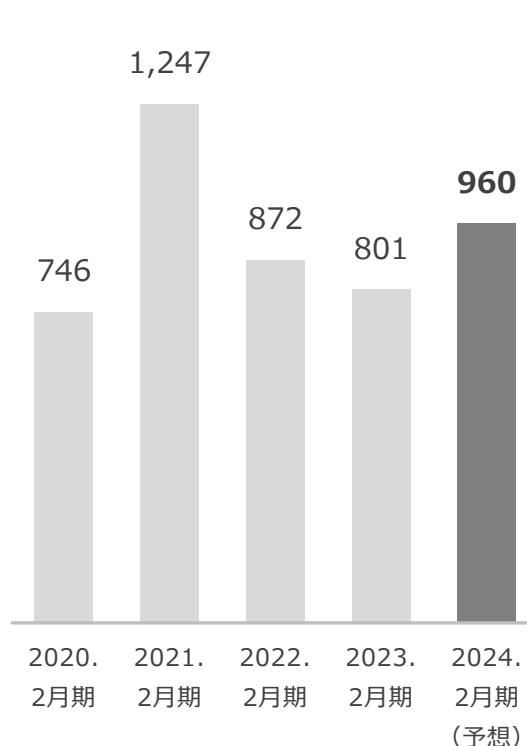
### 売上高推移

(単位：百万円)



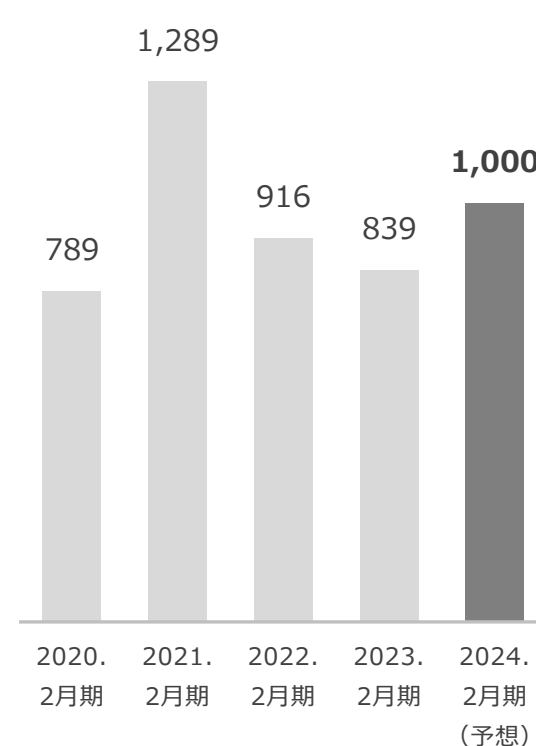
### 営業利益推移

(単位：百万円)



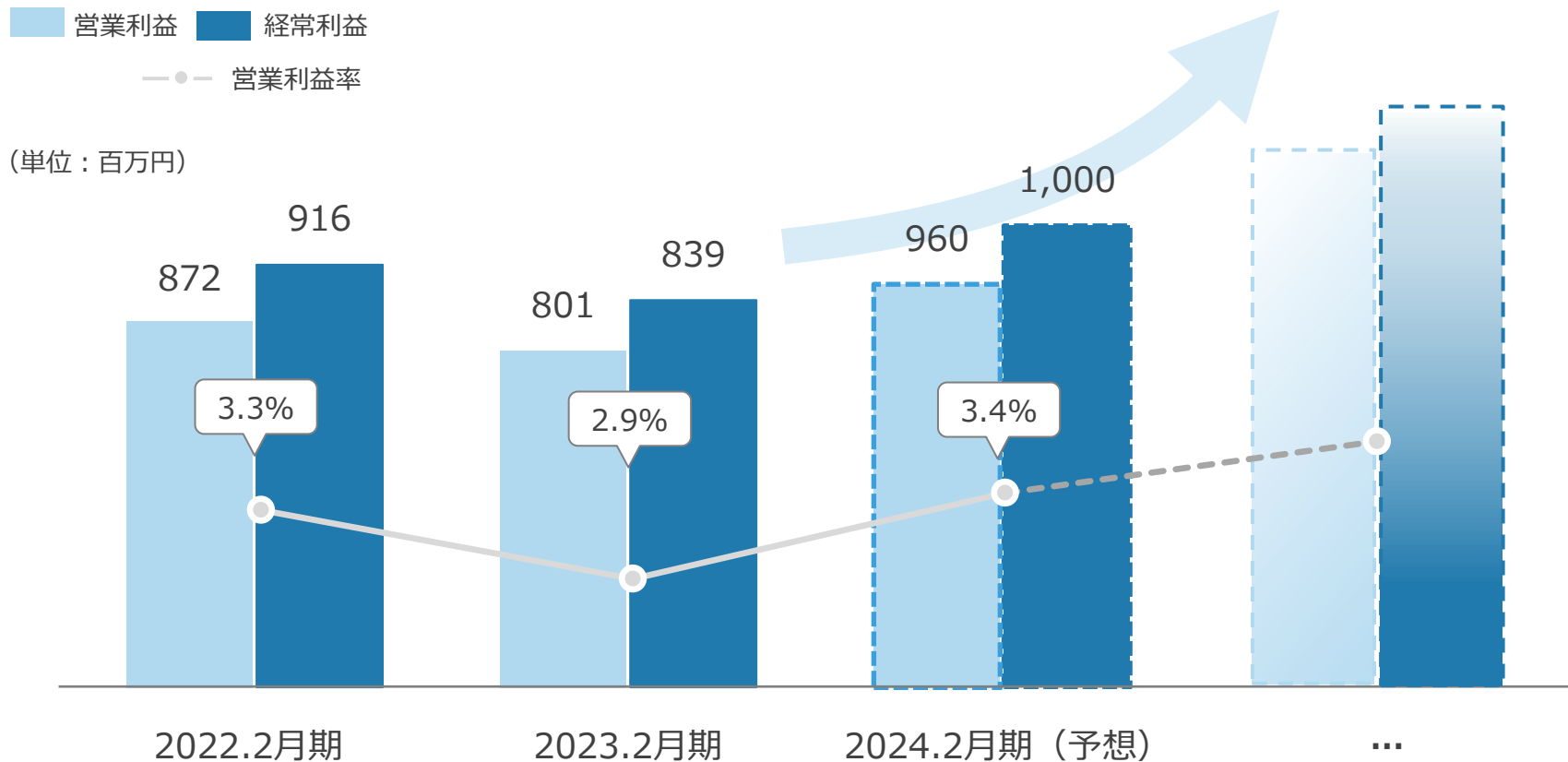
### 経常利益推移

(単位：百万円)

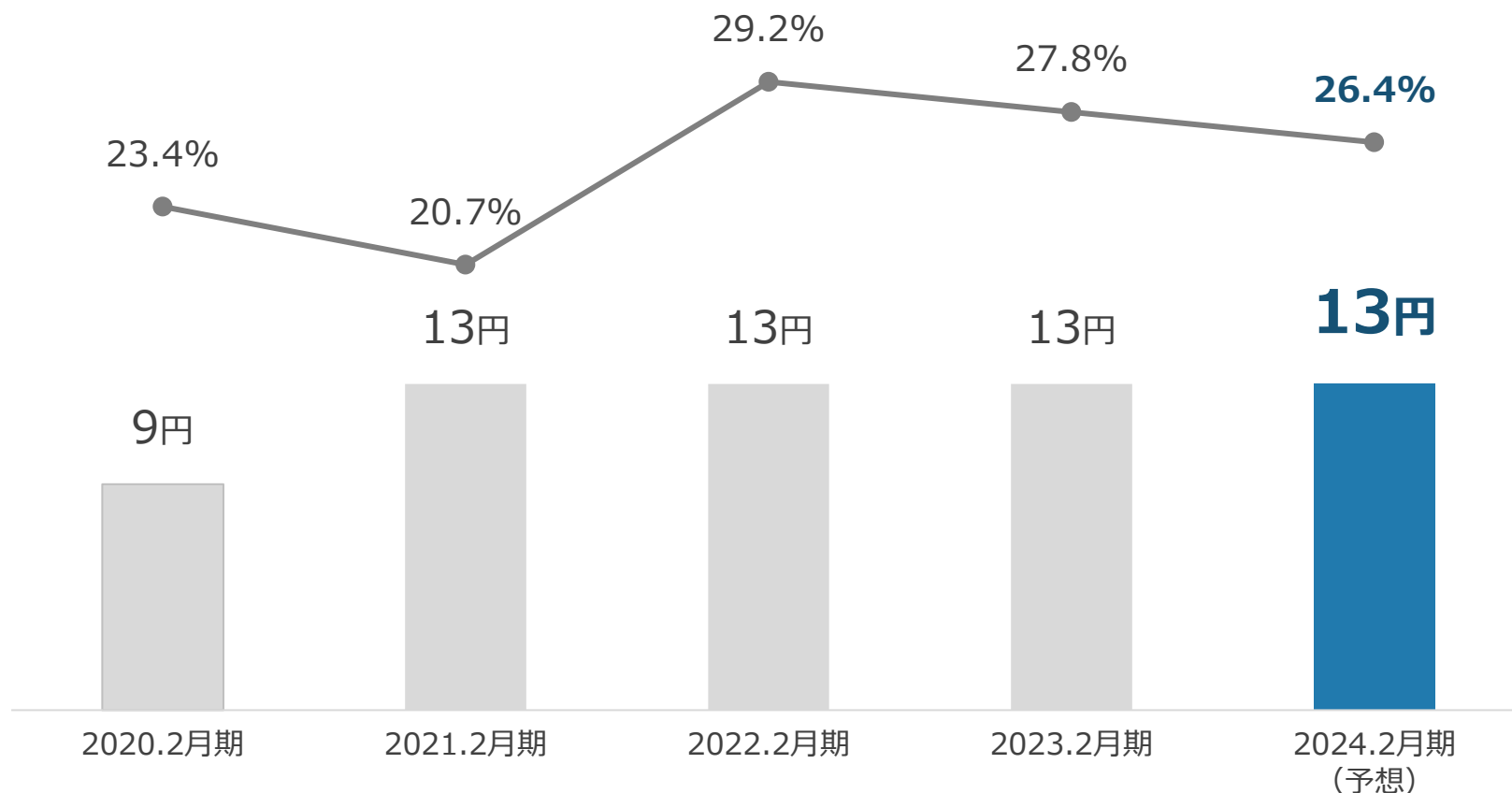




好調な売上の伸びを背景に、生産性向上・ローコストオペレーションを引き続き追求し、子会社を含めた連結ベース収益の向上を目指します。



前期と同額の1株当たり13円を予定。引き続き株主還元を重視しつつ、戦略投資に備えて参ります。

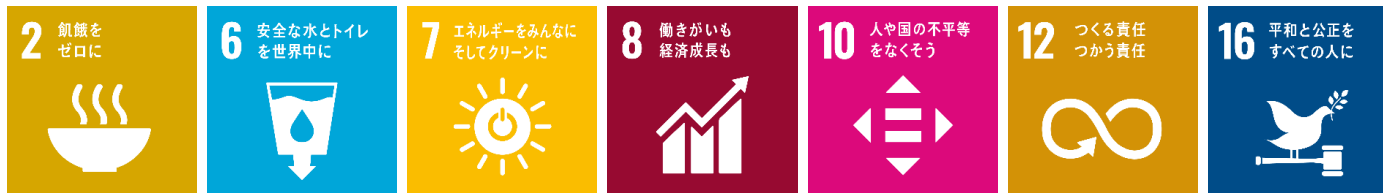


# 5

## サステナビリティ



SDGs 17の目標のうち、特に以下の7つに注力しております。



## Environment (環境)

### 食品ロス削減

メーカー・商社等の商品政策の変更による返品商品や、賞味期限間近の商品を市中販売することで貢献しています。



### 省エネルギー

- ・ LED照明の導入による消費電力削減
- ・ 店舗・本社の冷暖房温度適正化による省エネルギー対策
- ・ 自社物流の配送効率改善によるCO2削減
- ・ 会議資料のペーパーレス化



### 安全で安価な飲料水確保

100%子会社において良質なミネラルウォーターを徹底した衛生管理・コスト管理のうえ製造しています。



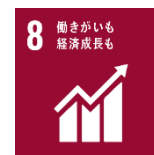
## | Social (社会)

### 社会貢献活動

- ・日本赤十字社への活動資金協力
- ・児童養護施設への支援

### 多様な働き方の推奨

- ・育児休業制度を採り入れ、女性は全員、男性は約半数近くが取得しています。
- ・育児短時間勤務、在宅勤務など柔軟な就業
- ・外国人雇用・障がい者雇用の実施



## | Governance (ガバナンス)

### コーポレートガバナンス

持続的な成長のための経営の効率化を図り、健全で透明な経営体制を構築するため、コーポレート・ガバナンスを充実させております。



### コンプライアンスの徹底・リスクマネジメント

企業価値及び信頼性の向上を目的として、事業活動に伴う各種リスクに適切に対応するための「リスク管理委員会」を設置し、社内を横断的に統括しております。

### 情報セキュリティ体制

- ・端末に情報を残さないよう独自のシステム上で業務を行う
- ・社内Wi-Fiを通じて限られた範囲内で情報を取り扱う
- ・ウイルス対策に注力し情報セキュリティを強化

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ジェーソン  
〒277-0921 千葉県柏市大津ヶ丘2-8-5  
TEL :04-7193-0911  
<https://jason.co.jp/ir/>